

独立行政法人地域医療機能推進機構

第9回 二本松病院地域協議会

議 事 録

日時：平成30年7月26日（木）19時15分～20時45分

場所：病院会議室

- 出席者** 土川 研也（安達医師会会長・二本松病院地域協議会委員長）
斎藤 浩樹（医療法人静心会斎藤医院院長・安達医師会副会長・地域協議会副委員長）
本多 弥（二本松市福祉部部長）
中村 哲生（二本松市市民部部長心得）
大津 英孝（安達地方広域行政組合消防本部警防課長）
渡邊 文保（二本松市社会福祉協議会常務理事兼事務局長／代理出席）
矢吹 孝三（二本松市民生児童委員協議会会長）
- 欠席** 加藤 清司（福島県北保健福祉事務所所長）
齋藤 剛志（二本松薬剤師会会長）
渡邊 征一（二本松市岳下区長会 会長）
- 病院** 六角院長・柳沼副院長（欠席）・大類事務長・安田総看護師長・安齋薬剤科長・
渡邊副総看護師長・松坂事務長補佐（総務／経理）・村井事務長補佐（医事）
安部総務係長・後藤経営企画係長（書記）

配布資料・地域協議会式次第

- ・地域協議会委員名簿
- ・第9回二本松病院地域協議会資料
- ・地域医療機能推進機構中期目標（第1期）
- ・概況書（平成30年7月）
- ・パンフレット
 - * 二本松第一地域包括支援センター
 - * 認知症サポーター養成講座
 - * 認定看護師の紹介
 - * 産後ケアセンター
 - * 脳ドック検査のご案内
- ・病院広報誌 「あゆみ6月号、7月号」
- ・附属介護老人保健施設広報誌 「花かすみ春号」

議事内容（大類事務長進行）

・ 協議会次第にそって

1. 開会

2. 院長挨拶

本日は大変お暑い中、二本松病院地域協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本年は、平成26年4月に地域医療機能推進機構としてスタートしてから5年目を迎え、機構の中期目標5年の最終年度となります。JCHO 二本松病院は独法化から4年間、医師不足の中でも、地域住民の皆様及び関係機関のご支援・ご協力のおかげをもちまして、何とか黒字経営を維持して参りました。

これからも、患者様が十分な医療や介護を受けられる体制作りに貢献して参りたいと考えております。

4月からの当院の体制については、幹部職員に異動はありませんでしたが、人事異動、退職等により多くの職員が病院を離れ、14人の新しい職員を迎えがんでおります。医師では後期研修初年度の星先生が福島県立医大乳腺外科から派遣され来ております。

また、今年国家試験を合格して採用された新人は、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、看護師2名とJCHO 移行最大数となり、計5名の若い力が二本松病院に新風を吹き込んでいます。

4月には医療、介護報酬の同時改定があり、経営に与える悪影響が心配されましたが、6月までは大幅な減収も無く、経営安定のためにこれからも上位基準の取得をめざして参ります。

高齢化と人口減少を見据えたうえで、地域からの期待に応えるためにも住民の皆様や、行政、保健所、医療機関、介護施設などの連携が不可欠ですのでご協力をお願いいたします。

本日は、当院が地域のみなさまに良い医療・介護の提供をして行くため、様々なご意見をいただきたいと思っております。

どうぞよろしく願いいたします。

3、委員の紹介

4. 議事（土川安達医師会会長進行）

大類事務長より二本松病院地域協議会資料に添って説明

【平成 29 年度及び平成 30 年 6 月までの】

- ・入院、外来患者数状況について
- ・救急車受け入れ状況・産後ケアについて
- ・健康管理センター受診者実績について
- ・訪問看護／訪問リハビリテーションの状況について
- ・地域連携室件数について
- ・附属介護老人保健施設月別入通所者状況について
- ・二本松第 1 地域包括支援センターについて
- ・居宅包括支援センターについて
- ・収支状況について

～質疑応答～

：土川安達医師会会長（地域協議会委員長）

患者数が入院外来ともだんだん減ってきているのは人口の自然減少も影響しているのでしょうか。

：大類事務長

一番の要因は医師不足によるものです。

：六角院長

今年度外科医師が 1 名増え外科医師の常勤は 3 名となりましたが、内科は依然増えませんが、その他の診療科も先生は増えていない状況です。

また、当院のような田舎の病院より福島市や郡山市の都市部の病院へと行く人もいるのではと思います。

：土川会長

紹介件数はかなり大幅に伸びているようですが何かあるのでしょうか。

: 六角院長

地域連携室は開業医の先生に連絡を取り合って情報を頂いています。頻回に情報を頂いて連絡を取り合うことが患者さんにとっては一番だと思います。齋藤先生にはお世話になっています。今後ともよろしくお願ひします。

: 土川会長

地域連携室は今までも機能していた認識がありましたが特に力を入れた理由があるのでしょうか

: 六角院長

JCHO本部より今年度は紹介率及び逆紹介率の向上が求められています。地域の先生方と繋がって紹介し合うことがJCHOの使命です。

: 中村市民部部長心得

産後ケアについてたいへんお世話になっております。平成30年度の利用者件数には本宮市、大玉村も入っての数字でしょうか。

: 安田総看護師

二本松市の件数です。今年度から本宮市、大玉村と契約しましたがまだ利用実績はありません。大玉村は7月から利用頂いています。

ここでお配りしました産後ケアセンターのパンフレットについてご説明させていただきます。「産後ケア」についてなかなかイメージがつかなくて利用されない方も多いため、市役所にこちらのパンフレットを置かせて頂いています。母親学級にいらしたご夫婦の方にパンフレットをお配りすれば件数が増えるのではないかと考えています。今後も市役所の方と相談しながら増やす工夫をしていきます。一度来て頂くとリピーターとして回数が増えると思います。

: 中村市民部部長心得

ありがとうございます。

: 土川会長

健康管理センターの実績で6月になり1,000人程増えていますが、どうしてでしょうか。

: 大類事務長

事業所健診を主に行っており 4 月、5 月は年度当初ということもあり件数は多くありません。どうしても 6 月～12 月にかけて集中し年が明けると減少します。平均化したいところですが冬場の健診希望は少ない状況です。

: 安田総看護師長

看護部の方からお配りしましたパンフレットについてお話させていただきます。

一つ目は「二本松第 1 地域包括支援センター」「認知症サポーター養成講座」です。認知症サポーターの研修を今、市とタイアップしながら動いています。「認知症の方が住み慣れた地域で最後まで生活できるように」ということで、地域の皆様が認知症を理解して頂くために、小学生から高校生までどなたでもサポーターになれます。その出前講座を無料で行っていますのでお声かけください。

二つ目は「二本松病院 認定看護師の紹介」です。当院には認定看護師 2 名おります。糖尿病看護認定看護師と感染管理認定看護師です。インフルエンザとか糖尿病のお話など具体的に施設などに出向きお話できますのでどうぞご連絡ください。

次に「二本松病院地域連携室だより」より外来嚥下機能検査のご案内です。これは飲み込みのカメラの検査を 7 月から月に 2 回ずつ午後から行うようになっていきます。耳鼻科の先生がいらして飲み込みをカメラで見せてくれています。食事の形態や量、そして姿勢などを見定めて今後の指導方針が入る検査です。7 月からは外来の方でも検査が受けられるようになりましたので、もし心配の方とかいらしたらどうぞご連絡ください。よろしくをお願いします。

あともう一点「脳ドック」の検査を始めています。MR I 検査と一緒に頸動脈検査も行っていますのでどうぞお申込みよろしくお願いたします。

: 土川会長

嚥下内視鏡はこれからの需要がかなり期待される分野ですね。

: 六角院長

そうですね。

: 齋藤副会長

認定看護師さんの講師料はいくらくらいですか。

: 安田総看護師長

講師料は無料で行っております。

: 齋藤副会長

当院に来て頂いて感染予防の話をして頂こうかと思います。

: 安田総看護師長

ありがとうございます。

: 土川会長

講師料は規程などを作って有料にした方がいいではないでしょうか。
がん認定を取られる方はいないのですか

: 安田総看護師長

以前研修を受けていた職員はいたのですが、今はいません。

: 土川会長

がん教育で今年から学校でがんの話を授業の一環としてやることになりました。
学校の講師として依頼されることが多くなり県としては学校医に当たってくださいというスタンスですが学校医だけとなると対応が難しくなるので、その中で認定看護師さんやがん患者会の方でもいいですので選択肢としてリストアップすることになっています。
認定看護師さんがいればいいですね。

: 安田総看護師長

わかりました。

: 土川会長

地域医療機能推進機構中期目標（第1期）の資料についてご説明をお願いします。

: 大類事務長

先ほど院長の挨拶の中でお話いたしました、JCHOになり5年間中期目標を定め
ました。その目標期間が今年最後の年となります。それがこちらの資料となります。

: 土川会長

わかりました。

: 齋藤副会長

産後ケアの料金はいくらくらいですか

：安田総看護師長

利用者の自己負担は二本松市が 1,000 円、大玉村が 1,300 円、本宮市が 2,000 円です。病院へは市村からの補助と自己負担で 1 件 13,000 円の収入となります。利用時間は、10 時から 16 時で曜日は月曜日から金曜日まで利用できます。

：本多福祉部部長

二本松第 1 地域包括支援センターさんには大変お世話になっております。

直営ではなかなか手が回らなかったところまで親切、丁寧な対応をして頂き、また認知症カフェや見守り隊の体制づくりに取り組んで頂きこの場をお借りして感謝と御礼を申し上げます。

二本松市では直営で運営していました包括支援センターが 4 月から包括ケア推進係として肩書き名称を書き変えまして地域包括ケアの推進の為の組織として生涯をいきいきと心豊かに暮らせるまちづくり二本松市としてそれぞれの包括支援センターの更なる活躍を支援しながら介護保険等推進していきたいと思っております。

またここには資料はありませんが、二本松病院附属介護老人保健施設さんと福祉避難所の協定を結びさせて頂きました。先日西日本で豪雨災害がありまして避難所の確保がとても重要となり、それを受けて市としましては今回協定を結んだ避難所は高齢者の方、障害者の方、通常の避難所ではなかなか避難生活ができないという方に対応して頂くということで非常に助かります。今後は避難所の開設がないことが一番良いことですが災害があったときにはお世話になりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

：土川会長

地域包括支援センターの人数が平成 30 年度は 29 年度に比べて大部増えています、2025 年度に向けて増えるものの反映なのでしょうか。

：安田総看護師長

職員の配置を今まではケアマネの資格がない人を配置していましたが今回ケアマネの資格を全員持っていることと、他の地域包括で働いていた職員が来てくれたので、そこでもっと幅広く活動してくれています。

：土川会長

キビタン健康ネットで情報共有のツールをつかえるように今度になりました。患者さん単位で情報交換や情報提供をする機能が使えるようになりましたので二本松病院さんも検討してはどうでしょうか。キビタンのプラスアルファといいまして介護系の新たなサービスです。

：六角院長

検討してみます。ありがとうございます。

：土川会長

その他ご意見ございますか

：大津警防課長

救急搬送及び救急救命士に対する研修について報告させていただきます。

平成30年1月から6月までの状況ですが救急搬送人員は1,907人内二本松病院収容者人数は313人の13.4%で対前年比9人の増となっています。また近年病院の選定には大変苦慮しているところですが積極的に受け入れて頂きましてありがとうございます。

また救急救命士の研修につきましても平成27年度からご協力頂いており本当にありがとうございます。今年度も3名の研修受け入れを頂いております。研修の内容はもちろんのこと、病院スタッフと顔の見える関係を築くことが出来大変有意義な研修になっていると聞いています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

：中村市民部部長心得

産後ケアですが全面的にご協力頂きありがとうございます。利用者の皆様から大変好評を頂いており今後は口コミで広がればと思います。さらに二本松市では来年度、できれば4月から産後ショートステイを開始したいと考えています。今後は実施に向けて病院と相談しながら進めていきますのでよろしくお願いいたします。

：土川会長

他になればこれで議事進行は終了いたします。

：大類事務長

ありがとうございました。

5、意見交換

：大類事務長

地域協議会の議事は以上になりますが委員の皆様から意見を頂戴したいと思います。

：渡邊常務理事

安齋会長欠席の為本日初めて代理出席をさせていただきました。先ほど院長先生から田舎の病院ですというお話がありましたが9部門のうち6部門ここでやっていらっしゃるん

ですよね。JCHOニュースを見ますと全国に57施設がありその内東北はその内の4つ福島にはJCHO二本松病院があり、健康管理センター、老健保健施設、訪問看護、地域包括、居宅介護としてやっている病院を持っているというのは「地域の財産」と感じました。地域の実情に即した充実した医療施設の中でもわれわれ地域協議会としてもよりよい地域づくりに貢献したいと考えていますので今後ともご協力したいと思います。

: 矢吹民生委員会長

地域包括支援センターの皆様にはわれわれの定例会にご出席頂き大変感謝しております。

包括支援センターが知れ渡って来たのかなあとと思います。私たちも「包括支援センターがあるよ」と担当区域内の人にはお話しますし、ひとりひとりが地域包括支援センターについて認知されてきたのかと思います。これからも担当区域内での情報等を含め地域包括さんと連携を図りながらやっていければなあとと思いますのでよろしくお願ひします。

: 大類事務長

ありがとうございます。その他何かありませんか。(特になし)

地域協議会は年2回開催予定です。今年度の2回目を来年2月くらいに計画しております。またご案内を差し上げたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひします。

6、閉会のあいさつ

安田総看護師長

本日はお暑い中、そしてお忙しい中遅くまで、本当ありがとうございました。

皆様から頂いたご助言だったりご意見だったりこれから病院の中で検討させて頂きながらよりよい地域に成れるように、そして地域の中の病院であり続けられるように頑張ったいと思いますのでこれからもどうぞよろしくお願ひいたします。そしてお帰りの際はどうぞ気を付けてお帰りください。どうもありがとうございました。